

論文概略

論文タイトル	The virtual retinal display as low-vision computer interface :apilot study	
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development	
巻号項	Volume 38 Number 4 Page 431 - 442	
出版年	2001 年	
支援機器	Virtual Retinal Display(VRD)	
分類(ISO9999)	22：コミュニケーション・情報支援用具	
試験相	第2 相試験	
研究仮説（目的） の概要	VDR は、視力が低下した人の視覚や読む速さなどの量的パフォーマンスを高める	
研究デザイン	自己対照	
障害・疾患	視力障害	
対象者・数	障害者 13 人	
主要アウトカム	速度（読む）	
副次アウトカム 1	主観評価（読み取りやすさ、明るさ）	
副次アウトカム 2		
副次アウトカム 3		
副次アウトカム 4		
副次アウトカム 5		
統計学的検定	無	
結果の概要	VRD 使用時に最高視力になる割合が多かった（46%）。ただ読み取り速度に有意差はなかった	
論文整理番号	87	※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」

支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター